



第 365 号・平成 21 年 9 月発行

○人事異動

■人事異動

○諸 報

■平成 21 年度小樽商科大学オープンキャンパスを開催

■商大ビアパーティーを開催

■2009 年度「高校生のための夏期連続講義」を開催

■小樽商科大学地域研究会：「世界金融危機と東アジア経済」に関する公開講演会を開催

■第 41 回 緑丘戦没者慰霊祭を挙

○FD コラム

■総合科目Ⅱb のあり方 ～統一テーマと複数担当者～

○規 程

■ 新規制定

○主要日誌

■ 平成 21 年 8 月主要日誌

○行事予定

■ 平成 21 年 9 月予定

人 事 異 動

総 務 課

平成 2 1 年 9 月 1 日付け発令

発令事項（新職名）	氏 名	旧職名（現職名）
【採用（非常勤職員）】 百年史編纂室 百年史編纂室	小 野 敦 子 菫 口 愉 花	

平成21年度小樽商科大学オープンキャンパスを開催

去る8月5日(水),平成21年度第2回オープンキャンパスが開催されました。今年度は年2回開催したオープンキャンパスですが,合計約1,500名(第2回目は約1,250名)の参加があり,昨年度に比べて約100名の増加となりました。

当日は好天に恵まれ,大学説明会,模擬授業,学食体験,キャンパスツアー等の様々なイベントが行われました。オープンキャンパスの様子については,以下の写真をご覧ください。

(入試課)



最初のイベントである大学紹介の様です。学長の挨拶,副学長による大学概要説明等が計5会場で行われました。



毎年盛況な学食体験ですが,今年度は9割以上の方が利用しました。また,混雑緩和のため,大学会館前にも席を設けました。



好天に恵まれたこともあり,生協学生委員会によるかき氷の無料配布が大盛況でした。用意した500人分が全てなくなりました。



キャンパスツアーの様です。生協学生委員会委員が参加者を引き連れて,各施設を説明しながら案内しました。



入試相談は、入試広報・高大連携専門部会の先生方が対応されました。



模擬講義は、7つの講義が行われました。高校とは違う大学の講義に、高校生は真剣に耳を傾けていました。



生協学生委員会による商大生との相談会の模様です。今年はCDPの学生も相談に応じました。



本学の教育・研究を紹介するパネルが、大学会館2階で展示されていました。



史料展示室が開放され、約100名の方が見学しました。百年史編纂室の平井先生に説明も行っていただきました。



生協学生委員会によるスタンプラリーです。学内に設置されたスタンプを集め、クイズに正解すると抽選で景品が当たるという企画でした。

8月6日（木）、昨年につき、商大ビアパーティーを開催しました。この催しは、市民の方に大学へ来てもらい学生や教職員と懇談しながら夏の夜を楽しんでもらおうと企画しているものです。今年は天候にも恵まれて、盛況であった昨年をさらに上回る約350人の来場者があり、用意したビールやおつまみもほぼ完売する大盛況となりました。

このパーティーは、「おたる潮まつり ねりこみコンテスト」で初優勝した商大チームの祝勝会も兼ねて行われました。踊りのお師匠さんも参加され、お祝いの言葉をいただきました。

また、昨年同様にジャズ研究会は生演奏を、学生のYOSAKOIチーム「翔楽舞」は演舞を披露してくれました。特に翔楽舞の演舞は、今年のおよこいソーラン祭り semifinal進出を果たした際のもので、来場者はその迫力に目をみはっていました。

さらに今年は「応援団を復活させる会」も加わり、扇子による舞や檄文の読み上げなどのデモンストレーションが行われました。最後には来場者も肩を組んで校歌を斉唱し、会場は大いに盛り上がりました。

(総務課)



(乾杯する山本学長（左）と潮踊りのお師匠さん（右）)



(ジャズ研究会による生演奏)



(翔楽舞による演舞)



(「応援団を復活させる会」によるデモンストレーション)

2009年度「高校生のための夏期連続講義」を開催

8月8日（土）から9日（日）の2日間、本学と札幌市立高校との高大連携に係る包括協定に基づく「夏期連続講義」が札幌サテライトにおいて開催されました。

この夏期連続講義は、日常の中で接する身近な商品のひとつをテーマに取り上げ、経営学・マーケティング等の講義を受けた後、4～5人のグループワークを行い、最終的にはグループ毎にアイデアを提案するというものです。今年度は「新しい清涼飲料水を考える」をテーマに開催され、札幌市立高校から7名の高校生が参加しました。

グループワークでは、最初は知らない者同士でぎこちなかった高校生も、ファシリテーターとして参加した商大生に助けられ、最終日には見事なチームワークでプレゼンテーションを行い、審査員として参加した清涼飲料水メーカーの企画担当者からは、ぜひうちの会社に来てアイデアを出して欲しい等の感嘆の声があげられていました。

また、閉会式では、大矢教育担当副学長から、審査の結果として「最優秀賞」「審査員特別賞」が発表され、最後に参加者全員に「修了証書」が手渡されました。

高校生からは「大学の方達の中で楽しく意見を交わせました。自分の意見を言うという苦手なことを交流の中で解消・克服できたと思います。」等の感想が寄せられ、少ない参加者ではありましたが、そのぶん先輩たちからキメの細かいサポートが受けられ、参加した高校生の満足度は120%といったところでした。

(学務課)



(実際に清涼飲料水を比較検討しながらアイデアを考える高校生)



(審査員の前で「新しい清涼飲料水」についてプレゼンする高校生)

小樽商科大学地域研究会：「世界金融危機と東アジア経済」に関する公開講演会を開催

小樽商科大学「地域研究会」では、去る8月10日（月）、同大札幌サテライトにおいて、韓国を代表する企業グループの一つサムソン経済研究所顧問 Jung Ku-Hyun（ジョン・グヒョン）氏を招いて「世界金融危機と東アジア経済～北海道への示唆～」と題した公開講演会を開催しました。

「地域研究会」は、文部科学省特別教育研究経費（研究推進）に採択された「グローバリズムと地域経済」を研究テーマに、過去2年間の研究活動を行ってきた実績等を踏まえ、学内の重点研究をリードする研究組織として今年度整備したものです。

講演会では、冒頭、山本学長が「リーマンショックで、トヨタをはじめ、日本の大企業も大きなダメージを受けた。特に経済基盤の弱い北海道は、そのあおりを大いに受けている。本日の講演会は、このダメージの解決策を考える上で一助となればと考えている」旨、挨拶をしました。

引き続き、Jung Ku-Hyun氏による講演が行われました。「（1）世界金融危機の原因と展望」「（2）韓国経済の危機対応と政策」「（3）日本と中国の危機対応とアジア通貨協力」「（4）今回の危機で企業経営はどのように変わるのか」「（5）北海道に対する示唆点」等を中心に、通訳を交え、同氏から詳細な説明が行われました。

講演後の質疑応答では、「北朝鮮問題」なども飛び出すなど、時折、ハツとする場面がありましたが、同氏は質問ひとつひとつ丁寧に答え、終了予定時刻を過ぎるなど、活発な質疑応答が行われました。

「地域研究会」では、今後とも、他機関等との連携を図りながら、講演会などとおし、その研究成果を社会に発信していくことにしています。

（企画・評価室）



（講演を行うJung Ku-Hyun氏）

小樽商科大学は、8月15日（土）の終戦記念日に、緑丘戦没者慰霊祭を挙行了しました。この慰霊祭は、学徒出陣で若くして戦争の犠牲となった多くの学生等を偲び、毎年この日に行われているもので、今年で41回目の実施となります。遠く石狩湾を見下ろす白樺林に囲まれた戦没者記念塔は、昭和44年に同窓会である緑丘会の募金によって建立され、以後毎年、遺族、同窓生、学生、教職員等が参列して慰霊祭を行っています。

正午の黙祷の後、山本眞樹夫学長から、「終戦から64年経つが、異なる宗教や民族の対立は、いまだに世界各地に紛争やテロを生じさせている。しかし歴史的に見れば、多様な宗教・民族の共生こそが、人類の文化・文明の豊かさを育ててきた。異文化の理解を深めることは、まさに本学の目指すところであり、この8月15日という日に、戦争の愚かさとわれわれの学問の意義を再確認したい。」との挨拶がありました。

穏やかな日差しの中に集まった約80名の参列者は、献花の後、グリークラブ学生及び応援に駆けつけたグリークラブOBと共に校歌を斉唱し、この丘に眠る347名の追悼と、平和への誓いを新たにしていました。

(総務課)



(記念塔の前で挨拶する山本学長)



(グリークラブらによる校歌斉唱)

総合科目Ⅱbのあり方～統一テーマと複数担当者～

企業法学科 片桐由喜

平成21年度前期に、いわゆる初年次教育に位置づけられる総合科目Ⅱbのコーディネーターを担当し、同科目の構成・担当者、講義環境、講義進行方法、学生の反応把握、等々について反省することが多い。

本年度の総合科目Ⅱbは、統一テーマ「企業における法と倫理」を定め、複数の外部講師と本学の教員が1回ずつ、各自の職業や専門領域に基づいて講義をするという形式をとった。

講義折り返し時点で1度、また最後の試験で「もっとも印象に残っている講義はどれか、その理由とあわせて書きなさい」という設問を通して、学生からの意見・感想を聞いたところ、大変興味深く、傾聴に値する指摘が少なくなかった。講義折り返し地点での意見に対し、対応可能な措置は直ちに実行し、最後の試験における回答は次年度の改善点としたい。

以下には、学生からの指摘について4つほど紹介したい。

最初に、講義そのものの内容ではなく、講義を受ける際の外的環境についての指摘である。それは第一に、教室の広さに対する不満である。当初、多数の履修者を想定して大講義室を割り当てたが、実際は150名程度であった。そのため、学生達は講師との距離を遠くに感じ、講義への参加意識が希薄になったと思われる。履修者数に応じた適切な講義空間を用意することの必要性を強く感じた。なお、これは教室変更をもって対応した。

第二に、一部学生の不適切な受講態度、それに厳しく対処しない教員らに対する不快感や不満である。150名は大人数講義に分類され、講義中に静謐を保ち、全員に誠実な受講態度をとらせることは容易なことではない。私語、携帯電話操作、「内職」、居眠りは、オリエンテーション時に厳しく禁じても、なくなる。一部学生の不適切な受講態度により、教員らの声が聞き取れない、うるさいといった不満、さらには、外部講師の講義時に、無礼な姿勢で居眠りをしている学生がいることで、当該講師が不愉快な思いをするのではないかと案ずる学生の苦情などがある。

これは、教室管理の問題であり、教員は各自の講義中に、まじめな学生を不愉快にさせないために、講義を妨害・停滞させる学生に対し強い指導力を発揮することが強く求められる。また、外部講師の時には、コーディネーターが後ろに控えているだけではなく、講義前にこれらの講師らと十分な打ち合わせを行い、講義進行を工夫・配慮することが必要であると考えている。

次に、内容に関する指摘である。一つは、講義内容が講師間で重複することが多い、講師間でどのようなことを講義するかを事前に打ち合わせをして、整合性、連続性のある講義展開をしてほしいという意見である。重複は外部講師や各教員に、講義内容について一任したことの当然の結果である。学生の指摘はもっともであり、初年次教育であることを考慮すれば、単なるオムニバス形式の講義ではなく、知識や思考方法が蓄積されるような講義展開を検討する必要があるであろう。

もう一つは双方向的な講義進行、つまり講義中に教員らが学生に質問をしたり、事前レポートに対するコメントを学生に返す、さらに詳しく質問するスタイルがもっとあってほしいという指摘である。これを実践した外部講師や教員の授業が、強く印象に残ると多くの学生が回答している。このような講義スタイルを個々の教員、ましてや外部講師に必ず実践することを求めることは困難であるにせよ、考慮すべき検討課題であると考えている。

このコラムに関するご意見があれば[教育開発センター](#)までお知らせください。

学内規程中、新規制定されたものを掲載します。各規程の詳細については、総務課総務係（5207）までお問い合わせ願います。

[1. 国立大学法人小樽商科大学特任教授規程第3条に関する申合せ](#)

国立大学法人小樽商科大学特任教授規程第3条に関する申合せ

平成21年8月4日

学長裁定

(趣旨)

第1条 この申合せは、国立大学法人小樽商科大学特任教授規程(以下「規程」という。)第7条に基づき、規程第3条の職務について必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 特任教授は、規程第3条第1項第1号の規定により、次の教育及び研究に従事する。

- (1) 本学の授業計画に従った学部授業(基礎ゼミ等の知の基礎系授業も含む。)、学部研究指導、大学院授業、大学院研究指導(大学院博士前期課程)及び大学院演習(大学院博士後期課程)。
- (2) 教員が行う研究、外部・内部資金によるプロジェクト研究への参画(代表者となることも可。)

(会議・委員会)

第3条 規程第3条第2項の専攻会議等(以下「会議等」という。)には、学科会議及び講座会議を含むものとする。

- 2 特任教授は、会議等の成立の定足数には含まれず、票決に参加できないが、意見を述べることができる。
- 3 特任教授は、原則として各種委員会委員等に就任することはできない。ただし、大学にとって必要な業務で、別途手当等が支給される委員に就任することができる。

附則

この申合せは、平成21年8月4日から施行する。

主要日誌

平成21年8月

3	月	13:30～課長・室長会（局長室）
4	火	9:00～現代商学専攻教務委員会（第2） 11:00～戦没者記念塔保存委員会（第2）
5	水	11:00～平成21年度第2回小樽商科大学オープンキャンパス 13:00～地域研究会（研究棟B） 17:30～短期留学プログラムフェアウェルパーティ（大学会館多目的ホール）
6	木	17:30～小樽商科大学ビアパーティ（大学会館前）
8	土	10:00～「高校生のための夏期連続講義」（札幌サテライト、～9日）
10	月	11:00～入学試験委員会（第1） 13:30～課長・室長会（局長室） 18:00～地域研究会公開講演「世界金融危機と東アジア経済」（札幌サテライト）
15	土	11:59～緑丘戦没者慰霊祭（慰霊塔前）
17	月	平成22年度現代商学専攻博士前期課程前期入学試験出願期間（～27日）
19	水	9:00～課長・室長会（局長室）
21	金	9:30～インフルエンザ対策本部（学長室）
24	月	平成22年度アントレプレナーシップ専攻前期入学試験出願期間（～9月3日） 13:30～課長・室長会（局長室）

26	水	13:30～百周年記念事業委員会（第1）
31	月	9:30～インフルエンザ対策本部（学長室）

行事予定表（9月）

1	火	10:30～教授昇任アントレプレナーシップ専攻会議（第1） 14:00～小樽商科大学シニアアカデミー（～4日）
2	水	
3	木	
4	金	11:45～小樽商科大学シニアアカデミー修了式（CBC会議室） インターンシップ意見交換会
5	土	13:00～小樽商科大学保護者連絡会（160、210講義室）
6	日	
7	月	
8	火	13:30～現代商学専攻入学試験委員会（第2）
9	水	10:30～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会（第2）
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	緑丘東京企業等セミナー（～18日、緑丘会館）
16	水	10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第1） 13:00～教授会等（第1）
17	木	

18	金	
19	土	10:00～MBAファカルティセミナー（札幌サテライト）
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	9:00～現代商学専攻前期入学試験 16:00～現代商学専攻入学試験委員会
27	日	10:00～アントレプレナーシップ専攻前期入学試験
28	月	13:00～学長選考会議（第2） 14:00～経営協議会（第2） 15:30～役員会（学長室）
29	火	9:00～現代商学専攻教務委員会 10:30～出版会運営委員会（図書館会議室）
30	水	10:00～学位記授与式（大学会館多目的ホール）